

【教育活動の名称】 新学科「森の探究科」開設に向けた図書の充実

【学校名】 滋賀県立伊香高等学校

1 本校の概要

滋賀県最北部に位置する本校は、明治29年に設立された伊香農業補習学校を起源とし、大正11年に県立伊香農学校として開校。その後、木之本高等女学校と合併統合経て、県立伊香高等学校として開設され、今年で創立128年目を迎える。

令和4年度より、魅力ある県立高校づくりの地域連携実践モデル校として、令和5年度からは文部科学省「普通科改革推進事業」の指定校に採択され、学校魅力化「伊香高Go Beyond プロジェクト～超えてゆけ☆～」に取り組んできた。そして、令和7年度には新学科「森の探究科」を開設し、生徒の「生きる力」と、地域社会を担う「知・徳・体」の調和のとれた人材の育成に力を注ぎ、さらなる発展を目指す。

2 取り組んだ内容

(1) 探究活動用の図書整備

学校魅力化の取り組みが始まり、特色クラスで実施しているコース別学習（「スポーツ健康」「地域文化」「自然環境」の3つのコース）で図書館資料を活用する機会が増加した。しかし、年々厳しくなる予算では本の購入も蔵書の更新も厳しい状況だった。今回の助成で、専門的な内容を写真や絵図でわかりやすく解説している本や図鑑などのビジュアル本を中心に購入した。購入図書の一覧は、探究学習での取り組みや、新学科「森の探究科」を周知するために、生徒・教職員向け、保護者向けにそれぞれ発行している図書館広報紙に掲載し紹介した。



(写真：図書館展示の様子)

(2) 総合的な探究の時間でレポート作成

2年生「自然環境コース」選択生が、今年度の探究活動を振り返り、図書館で関連する本を一人一冊借りて各自レポートを作成した。エネルギー問題や動植物に関する本の利用が多く、特に図鑑や写真集などのビジュアル本がよく手に取られた。昆虫の写真集を借りた生徒は、気になる昆虫を写真集から見つけ、同じ昆虫でも色が微妙に違うことに疑問を持ち、インターネットで検索をしていた。また、友人に借りた本を見せて意見を言い合う生徒の姿も見ることができた。



(写真：本を選んでいる様子)

3 活動の成果

一冊の本から知りたい情報を読み解くことは、本を読む習慣のない生徒にとっては難しく、今までICT活用を優先することが多かったが、今回の授業では、ビジュアル本を中心に関連本を用意したことで、「理解しやすかった」という生徒の声を聞くことができた。また、本を読んでうまれた疑問を教員に質問をしたり、インターネット検索をして理解を深めようとする生徒も多かった。これは、ICT活用だけでは得られない過程であり、生徒にとって良い学びになったと思う。

今年度は「自然環境コース」だけの利用になってしまったが、新学科「森の探究科」開設を機に、探究活動がより一層活発になることが予想されるため、今後も活用推進に努める。